

日本新都市開発 株式会社(東京都／不動産、建設、飲食業)



**事業拡張でシナジー効果を発揮
かゆいところに手が届く仕事を!**

不動産有効活用のコンサルティングから都市開発事業、建築や設計などをワンストップで手がける日本新都市開発 株式会社。店舗の改築工事も得意としているが、飲食事業で展開する店舗をモデルルーム的に活用するなど、事業間のシナジー効果も発揮。新築住宅にも注力し、さらなる躍進を遂げる!

不動産業と建設業、そして飲食業を三本柱として事業を行なう「日本新都市開発」。不動産事業に関しては、地方の土地開発や不動産コンサルティングを中心に展開。建設業では、店舗の改修工事等を得意としている。飲食業では、ランチタイムはちゃんぽん、皿うどんを提供し、夜は居酒屋営業を行なう「ながさき」5店舗、ランチタイムの「鶏唐揚丼」が大人気の炭火焼鳥「源治」、洋食の「東京レトロ」、鰻と日本蕎麦の「にいづ」ホテルニューオータニ本店など、幅広いジャンルの店舗を展開している。

「どの事業でも、お客さまのかゆいところに手が届く仕事をさせていただけなのが弊社の強み。他人の見ていないところできちんと仕事をする人が最後に勝つという信念を全員で共有し、仕事に取り組んでいます」

代表取締役の田鍾柱氏は、大手デベロッパー勤務を経て平成11年に起業。当初は土地開発・造成メインだったが、建設と飲食の別会社2社を吸収し事業を拡張していった。「大手のブランド力がなくなると、顧客からの信用が得られず苦労しました」と田氏。大手と競合しない地域の土地を独自のノウハウで取得、販売し、着実に顧客の信頼と実績を築いてきた。

「今ではよくある手法ですが、地方の広い土地を分割し宅地として販売することを地道に継続しました。立地は悪くないのに、広すぎて売れない土地が多かった。



純和風庭園のある「ながさき」麻布十番店。癒しとくつろぎの空間として人気

当時地方では、土地を分割して販売するという感覚がなかったんです」

決して価格競争はしないが、見積で他社に負けたことはないと言っている田氏。仕事に対する確固たる自信が、そこにある。

「ご希望とご予算を伺って、それ以上の内容と金額のご提案をさせていただきます。予算がないなら、そこから減額していけばいい。最初から涙を飲んだようなものではなく、徹底的に考えたより良いものを提案させていただき、それで判断していただければと思います」

お客さまに喜ばれる仕事をする。それだけを心がけているという田氏。「かゆいところに手が届く」同社の事業を、今後、さらに発展させていく。



「ながさき」の虎ノ門駅直結店。駅直結の大型店舗となり、昼夜を問わず多くのお客さまで賑わっている

衣食住に関係することを中心に
「かゆいところに手が届く」
仕事に取り組んでいきます。

代表取締役 田 鍾柱



日本新都市開発 株式会社

所在地 ■ 東京都港区南麻布 1-5-32
T E L ■ 03-3455-9898 F A X ■ 03-3455-9899
U R L ■ <http://www.nihonshintoshi-group.com/>
設 立 ■ 1999年 資本金 ■ 7,600万円
従業員 ■ 60名

PHILOSOPHY ● 理念

「他人の見ていないところできちんと仕事をする人が最後に勝つ」という信念を共有する。衣食住に密接した仕事に取り組んでいく。常にお客さまに喜ばれる仕事をするを第一に考え、お客さまが喜ぶ姿を思い描きながら、仕事に取り組む。

POLICY ● 方針

「ながさき」は25周年を期に、「豪華美味食」をコンセプトに全店リニューアルを実現。さらに、お客さまに喜んでいただける店舗を港区で拡張する。建設業は店舗の改築が多いが、今後は新築住宅のボリュームを増やしていく。